

事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-6
居住環境づくり

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

下水道推進課長 青木 元幸

電話番号

0852-22-5932

事務事業の名称	流域下水道運転管理事業	
目的	(1) 対象	流域下水道利用者
	(2) 意図	流域下水道を正常に運転し、下水道利用者に快適な生活を提供する。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・宍道湖東部浄化センター及び西部浄化センターへの流入汚水を浄化し放流を行う。 ・浄化センターを適切に運営するため施設・設備の保守・点検を行う。 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 年間流入水量	目標値		28,589.0	28,772.0	28,932.0	29,153.0	千m ³ /年
		取組目標値						
	式・定義 処理を要する汚水等の年間流入量	実績値	28,848.7	29,273.0				
		達成率	-	102.4	-	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	1,764,951	1,785,727
うち一般財源 (千円)		

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	①順調に進んでおり課題がないため検討していない
---------------------	-------------------------

5. 評価時点での現状 (客観的事実・データなどに基づいた現状)

平成28年度の年間流入量は、東部19,875,280千m³/年、西部9,397,765千m³/年であった。

6. 成果があったこと (改善されたこと)

概ね目標を達成し、放流水質も基準値内であり、運転管理も良好に行われた。

7. まだ残っている課題 (現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

年間流入量は概ね目標値に近い値となっているが、年度間で若干の変動がある。

②困っている状況が発生している「原因」

流域関連公共下水道の重要性や必要性は全体では理解されているが、個別の事情もあり接続してもらえない。

③原因を解消するための「課題」

年間流入量を増加させるには、流域関連公共下水道面整備後の接続率向上が重要である。

8. 今後の方向性 (課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

- ・流域関連市の接続率向上に向け、県が行っている出前講座等の普及啓発活動を引き続き行う。
- ・引き続き適正な運転管理を行う。